



ファシリテーター
森のなりわい研究所

代表理事 伊藤 栄一氏



Kiidake
武内 久枝氏

八百津町森林組合
参事 井戸 謙悟氏



岐阜大学 地域連携推進本部
助教 伊藤 浩二氏

80%山のまちを元気にする協議会
会長 武藤 貴子氏

森林空間の活用を軸に地域資源の価値を再発見し
持続可能な地域づくりの可能性を探ります。



基調講演

農林水産省 東海農政局

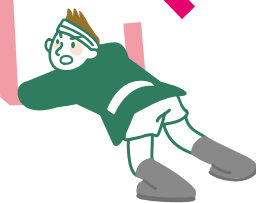
次長 福井 逸人氏



内堀醸造株式会社
代表取締役
内堀 泰作氏

味噌平醸造株式会社
代表取締役
瀬瀬 保文氏

蔵元やまだ
代表社員 山田 直和氏



こんな方にオススメ！
これからの地域振興や
「森のある暮らし」の
可能性に興味のある方

山の恵と水の恵みを 山の恵みを 水の恵みを
繋ぐヒト × 活かすヒト × 活かすヒト

SYMPOSIUM

森のある暮らし

in 八百津

MORINO ARUKURASHI

2025年 12/11 木

【開場】12時半 / 【開始】13時 - 16時

場所 八百津町ファミリーセンター大研修室
(加茂郡八百津町八百津3827-1)

参加費
不要
定員80名



左の二次元コードを読み取って、
申込フォームからお申込みください。
【申込先・問合せ】
岐阜県 林政部 森林活用推進課
058-272-1111 (ex4345)

木の文化と山の恵みが息づく 自由参加 10時 集合 RAT DESIGN SHOP
(岐阜県加茂郡八百津町八百津4126-1-1)
まちの魅力を探索エクスカーション

舟運で栄えた八百津の歴史・文化を知る
山と森を上手く使って、バランスがとれていた昔の生活から見えるもの

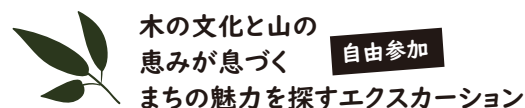
主催 岐阜県 運営 80% 山のまちを元気にする協議会



「森と水の恵み」は、自然が育み、人の暮らしを潤し、文化を生み出してきました。八百津町にとっては、まちの魅力の源であり、地域ブランドの中心となるものです。

この「森と水の恵み」という想いは、八百津だけでなく、木曽川流域や岐阜県内の他の地域にも通じる、大切な価値だと感じています。

自然とともに生きる八百津らしさを大切にしながら、未来へとつなぎ、この活動を少しずつ広げていけたらと思っています。



10:00 ~ **RAT DESIGN SHOP 集合**
(岐阜県加茂郡八百津町八百津4126-1-1)

スマートフォンを使って、まち歩きを楽しむ「WEBAR まちあるき」システムの操作方法をわかりやすくご紹介します。

10:30 ~ **舟運で栄えた町やおつの歴史を知る**

11:30 **まち歩きをお楽しみいただきます。**



申込先・問合せ

岐阜県 林政部 森林活用推進課
058-272-1111 (ex4345)



農林水産省 東海農政局 次長

福井 逸人 (ふくい はやと) 氏

農林水産省入省以来、食品流通政策や知的財産政策、地域振興など幅広い業務を経験。鹿児島県鹿屋市の副市長として地域振興に携わり、文化庁では食文化分野にも従事。現在は東海農政局次長として、東海地域の農林水産業振興や輸出支援、官民連携の推進を担当。地域資源を活かした持続可能な農林水産業の発展を目指し、現場の声を反映した政策推進に取り組む。



特定非営利活動法人 森のなりわい研究所 代表理事

伊藤 栄一 (いとう えいいち) 氏

幼少期にバードウォッチングに親しみ、自然への関心を深める。岐阜大学で森林学を学び、20年以上にわたり岐阜大学演習林の専任講師として森林環境学習や地域づくりに従事。現在は、特定非営利活動法人「森のなりわい研究所」の代表理事として岐阜県下呂市を拠点に活動。「森を活かし、森に育まれる暮らし・地域づくり」を掲げ、環境教育や地域活動を通じて、人々と自然とのつながりを深める取り組みを展開。



岐阜大学 地域連携推進本部 助教

伊藤 浩二 (いとう こうじ) 氏

地域資源を活かした持続可能な社会づくりを専門とし、里山や農村の生態系保全、地域資源の循環利用に関する研究と実践を行う。これまで金沢大学や岐阜大学で地域連携や環境教育に従事し、地域住民や学生との協働を通じて、自然と暮らしをつなぐ取り組みを推進。現在は岐阜大学地域協学センターにて、地域の自然環境と社会をつなぐ教育・研究・実践活動を展開。

80%山のまちを元気にする協議会
会長 **武藤 貴子氏**

2015年に岐阜県八百津町へ移住。地域おこし協力隊として活動をスタートし、起業・定住から10年。現在は、WEB制作・デザインの請負業務を中心に、地域資源を活かした町おこしにも取り組む。地域に根ざした視点で、デザインと発信を通じてまちの魅力を上げることを目指している。

八百津町森林組合
参事 **井戸 謙悟氏**

岐阜県八百津町森林組合 参事。町の約80%を森林が占める八百津町で、森林資源の持続的な活用と地域林業の振興に取り組む。山林の適正管理、木材利用の推進、次世代へつなぐ森づくりをテーマに、地域住民や行政、事業者との連携を図りながら、豊かな森林環境の保全と地域経済の活性化を目指している。

Kiidade
武内 久枝氏

「小さな家」と「サウナ」を通して、地域の森林資源を活かし、木とともに暮らす豊かさを提案している。自然素材が持つぬくもりや香りを大切にしながら、日々の暮らしの中に「森を感じる」空間づくりを実践。「木と人とのつながりをもう一度見つめ直す」をテーマに、地域と自然が調和し共に生きる未来を目指して活動している。

内堀醸造株式会社
代表取締役
内堀 泰作氏

酢の専門メーカーとして150年の歴史を持つ。八百津町の自然に恵まれた環境の中には酢造りにとって大切な「水・空気・微生物」が整っている。「酢造りは酒造りから」という企業理念の元、まだ世界が見たことのない酢を人々へ届け、社会に貢献したいと考えている。伝統と革新を胸に、高品質で安全な製品を作り続け、国内外へ製品を届けている。

蔵元やまだ
代表社員
山田 直和氏

小さな酒蔵ゆえ、醸造・営業・広報などあらゆる業務を自ら担うワンストップ型の経営スタイル。フランスで開催された日本酒コンクール「Kura Master 2023」において、蔵元やまだの「玉柏純米大吟醸」が最高賞（プレジデント賞）を受賞。山田社長は受賞について「多くの皆様の支えに感謝したい」と語っている。

味噌醸造株式会社
代表取締役
頼綱 保文氏

明治時代創業の伝統を受け継ぎ、自然環境に恵まれた八百津町で味噌と醤油の醸造を行う。八百津町において、自然環境に育まれた日本の味「醤油」「味噌」の醸造を行っている。「伝統の天然醸造の製法」を守り、モットーとしており、昔ながらの味を八百津町の気候を活かした製品づくりを通じて、日本の食文化と地元の魅力を発信している。

12:30 ~ **開場**

13:00 ~ **開会・挨拶**

13:05 ~ **1部：基調講演 (60分)**

演題「一次産業を活かした地域の魅力づくりとその発信について
～鹿児島県の事例を参考に～」

講演者 農林水産省 東海農政局 次長 福井 逸人氏

14:15 ~ **2部：パネルディスカッション (100分)**

ファシリテーター 森のなりわい研究所 伊藤 栄一氏

話題提供：「ディスカバー農山漁村の宝」報告 (20分)

演題：「森の恵みを活かした暮らしの中で、舟運が育んだ祭りや藤蔓の山車」

登壇者：80%山のまちを元気にする協議会 代表 武藤 貴子氏

パネルディスカッション (80分)

テーマ：「森と水の恵みを活かし暮らしてきた地域の魅力を未来へつなぐ」



15:50 ~ **クロージング (10分)**